

(15) 柔道

平成30年度 第53回群馬県高等学校総合体育大会柔道競技会
兼第66回関東高等学校柔道大会群馬県予選 実施要項

1. 期日及び会場 平成30年5月11日(金)12日(土)
ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場
前橋市関根町800 電話 027-234-5555 (代)
 2. 競技日程 平成30年5月11日(金)10時00分～ 男女個人試合
12日(土) 9時30分～ 男女団体試合
 3. 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定(2017-2020 2018 改正)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
 - (1) 優勢勝ちの判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。※僅差は「指導差2」とする。
 - (2) 「技の内容」と「指導」の重みは以下の順とする。
一本勝ち=反則勝ち>技有>僅差
 4. 競技方法 (1) 団体試合
 - ア トーナメント戦を行う。ただし、女子について、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。
 - イ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は以下の項目に従って決定する。
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
*ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - ③ ②で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は代表戦を行う。
*代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
*代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技有」または「僅差」以上とする。
ただし勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。
延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。
 - ウ 試合時間は3分とする。(敗者復活戦、準決勝、決勝は4分)
 - エ 順位決定戦(敗者復活戦)は次のように行う。
 - ① 男子では準々決勝で敗れた4チームと、準決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった4チーム(但し、同じ差の場合、得点内容を見る。一本勝ち…10点、技有勝ち…5点、僅差勝ち…1点とし、点差が少ないチームが出場する。点差でも同じ場合は対戦が後のチームとする)の8チームで順位決定戦(敗者復活戦)を行う。
 - ② 女子の順位決定戦(敗者復活戦)は、準決勝で敗れた2チームと、決勝に進出したチームと対戦し最も勝敗差の少なかった2チームの4チームが男子に準じて行う。
リーグ戦において、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。
3チーム以上の場合、代表戦をトーナメント方式で行う。
 - オ 順位決定戦(敗者復活戦)の結果を総体得点とする。
 - (2) 個人試合
 - ア トーナメント戦を行う。
 - イ 試合終了時に得点差のない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)を行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技有」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
 - ウ 試合時間は3分とする。(準決勝、決勝は4分)
5. 引率・監督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し、公立学校にあっては教員とする。)
(2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
(3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
6. 参加資格 (1) 参加選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
(2) 本連盟柔道専門部に登録をした者。
(3) 年齢は平成11年(1999年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。

- (4) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
- (6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

7. 出場制限

- (1) 男子団体試合
 - 1校1チーム(定時制課程、通信制課程が出場する場合2又は3チーム) 監督1名、選手5名、(先鋒から軽量級3名、無差別2名)、補員2名(軽・無差別各1名)の8名とする。
 - 軽量級は73kg以下とし、補員の出場は登録した階級に限る。
 - 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。
- (2) 女子団体試合
 - 1校1チーム監督1名、選手3名(先鋒から軽量級2名、重量級1名)、補員2名(軽・重量級各1名)の6名とする。但し、重量級の者がいない場合、軽量級の者が重量級に出場することができる。軽量級は57kg以下とする。但し、補員の出場は登録した階級に限る。
 - 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。
- (3) 男子個人試合
 - ア 1校監督1名、選手2名の計3名とする。
 - イ 体重無差別とする。
- (4) 女子個人試合
 - ア 1校監督1名、選手の出場は制限しない。
 - イ 体重別とする。階級は48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級の7階級とする。

8. 組合せ会議

平成30年4月25日(水)午前9時30分より、群馬県立渋川青翠高等学校で常任委員が行う。

9. 表彰

- (1) 男子団体試合 優勝校に優勝盾(持ち回り)を、関東大会出場校に表彰状を授与する。
- (2) 女子団体試合 優勝校に優勝盾(持ち回り)を、関東大会出場校に表彰状を授与する。
- (3) 男女個人試合 1位~3位の上位4名に表彰状を授与する。

10. 申込み方法

別冊申込書の各一部を各高等学校でとりまとめて、参加校すべて4月23日(月)午後2時までに下記まで申し込みをする。

〒371-0805 前橋市南町4-35-1 県立前橋商業高校内 群馬県高等学校体育連盟事務局
 なお、同じ内容のものを下記宛に、Eメールにて20日(金)までに申し込む。

高崎高校 田中 利明 メールアドレス toshi-tanaka@edu-g.gsn.ed.jp

11. 関東大会出場権

男子団体上位7校、女子団体試合上位3校、男子個人上位2名、女子個人各階級上位2名は、6月2日(土)6月3日(日)に東京武道館で行われる第66回関東高等学校柔道大会の出場権を得る。但し団体戦における選手の人数は、男子は5名、女子は3名が出場の条件となる。

12. 選手変更

- (1) 個人試合の変更は認めない。
- (2) 10日の午後5時までに委員長に連絡する。大会当日、校長の証明書・医師の診断書・柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。補欠の補充は各階級1名までとし、伝染病その他天災による場合は特例を認める。また、個人試合に出場して怪我等を負い、団体試合に出場できない場合監督は直ちに委員長に連絡し、補充の選手の計量を行う。大会当日、監督会議で了解を得る。

13. 計量

5月11日(金)午前8時30分~9時20分に試合会場で行う。(時間内計量)
 注 男女団体試合出場者も同じ時間帯に行く。(無差別は行わない)

14. その他

- (1) 選手は所定のゼッケンをつける。
- (2) 女子は白の無地のTシャツを着用する。
- (3) 男子団体試合上位8校、女子団体試合上位4校はインターハイ予選のシート権を得る。
- (4) 監督会議を両日とも第4会議室(道場に隣接の会議室)にて行う。
 会議の開始時間 11日(金)9時30分、12日(土)9時00分。
- (5) 受付は監督が8時30分~9時00分までに行う。
- (6) 昼食は各自で用意する。
- (7) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - 1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - 2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - 3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - 4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。